

森研第36号
平成27年 6月 23日

関係各位

岐阜県森林研究所長

平成27年度岐阜県森林研究所「研究・成果発表会」の開催について

日頃は、当所の試験研究業務にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当所では、下記のとおり研究・成果発表会を開催します。今回は、初の試みとして、長野県林業総合センターの研究成果もポスター発表します。

つきましては、多くの方に参加いただくとともに、関係者へお知らせいただきますようにご案内申し上げます。参加を希望される場合は、下記の4により申し込みください。

記

1. 開催日時および場所

日時：平成27年7月17日（金）13：15～16：10（12：45より受付）

場所：中濃総合庁舎5階大会議室（岐阜県美濃市生櫛1612-2 TEL：0575-33-4011）

※車でお越しの方は、なるべく乗り合わせをお願いします。

2. プログラム（講演・発表の内容は別紙のとおり）

13:15～13:20 開会・あいさつ

13:20～14:20 講演 森林管理者が知っておくべき山地災害の特徴（仮題）

国立研究開発法人 森林総合研究所関西支所 多田泰之 氏

14:20～14:30 当所が実施している講演に関連する研究の紹介

14:30～14:40 休憩

14:40～15:00 発表① 木製治山構造物の腐朽程度を簡便に把握するには 森林資源部 和多田 友宏

15:00～15:20 発表② スギ木材乾燥の効率化に関する試験研究 森林資源部 土肥 基生

15:20～15:40 発表③ 酵素に注目した新しいキノコ生産技術 森林資源部 上辻 久敏

15:40～16:10 ポスター発表（研究成果の紹介）

16:10 閉会

3. 定員：150人程度（参加無料）

4. 申し込み方法：

参加申込書に記入の上、FAX、電子メール、郵送のいずれかにより7月10日（必着）までに申し込みください。

5. 申し込み・問い合わせ先：

岐阜県森林研究所（〒501-3714 美濃市曾代1128-1） 担当：田中、茂木

電話：0575-33-2585 FAX：0575-33-2584

電子メール：c25108@pref.gifu.lg.jp

【講演内容】

題名 森林管理者が知っておくべき山地災害の特徴（仮題）

国立研究開発法人 森林総合研究所関西支所 多田泰之 氏

山地崩壊の発生危険箇所を予測する技術は、山地災害を未然に防ぐうえで森林管理者にとって重要です。そこで、山地崩壊が発生するメカニズムとその特徴、さらに崩壊の危険が高い地形、地質の見極め方などについてご講演いただきます。

【発表内容】

発表① 木製治山構造物の腐朽程度を簡便に把握するには

森林資源部 和多田 友宏

木製治山構造物はその多くが設置後10年近く経過しており、維持管理の点から部材に使用された木材の腐朽程度を把握しておくことが重要です。一般の工具を利用して木製治山構造物の部材の腐朽程度を簡便に診断できることがわかりましたので、この技術を紹介します。

発表② スギ木材乾燥の効率化に関する試験研究

森林資源部 土肥 基生

県内で最も資源量の多いスギ材を建築用部材として利用するには、割れや曲がりを防ぐために適正な含水率まで木材を乾燥させる必要があります。近年普及している高温乾燥法でスギ材の乾燥仕上がり揃えるために実施した「心材色による選別」など、木材乾燥の効率化や高品質化に向けて当所で取り組んでいる試験研究を紹介します。

発表③ 酵素に注目した新しいキノコ生産技術

森林資源部 上辻 久敏

食用キノコの生産業界では、市場での競争力を高めるために生産力の向上や高品質化が求められます。酵素に注目してキノコ生産の研究を進めたところ、キノコの収量増加や鮮度保持力の向上を期待できる結果が得られましたので、紹介します。

【ポスター発表】

- ・長野県林業総合センターの研究成果
- ・タワーヤード全木集材時に主索と控索にかかる張力調査 ー安全作業のためにー

森林環境部	古川 邦明
森林環境部	田中 伸治
森林環境部	大橋 章博
森林環境部	片桐 奈々
森林環境部	岡本 卓也
森林環境部	渡邊 仁志
森林資源部	茂木 靖和
森林資源部	富田 守泰
森林資源部	水谷 和人
- ・皆伐が森林土壌に与える影響
- ・性フェロモンを利用したマイマイガ防除の試み
- ・ニホンジカによって下層植生上の昆虫類の多様性が変わる？
- ・多雪地域に設置したツリーシェルター型資材の融雪後の状況
- ・一位一刀彫の原材料、イチイについて
- ・イチイのさし木
- ・心持ち構造材乾燥時の応力測定手法とドラインセットにおける挙動
- ・シイタケの鮮度を保つために

